

# 衆議院経済産業委員会ニュース

平成 27.3.25 第 189 回国会第 4 号

3 月 25 日（水）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 外国為替及び外国貿易法第十条第二項の規定に基づき、北朝鮮を仕向地とする貨物の輸出及び北朝鮮を原産地又は船積地域とする貨物の輸入につき承認義務を課する等の措置を講じたことについて承認を求めるの件（内閣提出、承認第 1 号）

- ・ 宮沢経済産業大臣、宇都外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって承認すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、野間健君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

### 渡 辺 周君（民主）

- ・ 2014 年 7 月に対北朝鮮制裁措置の一部が解除されて以降、送金及び人的往来の状況はどうなっているのか。
- ・ 拉致問題の解決に向けて、政府は北朝鮮側の拉致再調査の回答期限を区切ることを検討しているのか、また追加制裁の発動について検討しているのか。

### 藤 野 保 史君（共産）

- ・ 北朝鮮に対する輸出入全面禁止措置は、国連憲章第 7 章第 41 条に基づく兵力の使用を伴わない措置として、平和的解決に向けた外交手法であるのか、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・ 「核兵器のない世界」の実現を目指すことは北朝鮮に対する圧力にもなりうるが、政府は核兵器禁止条約の交渉開始を求める決議に対し、どのように対応しているのか。